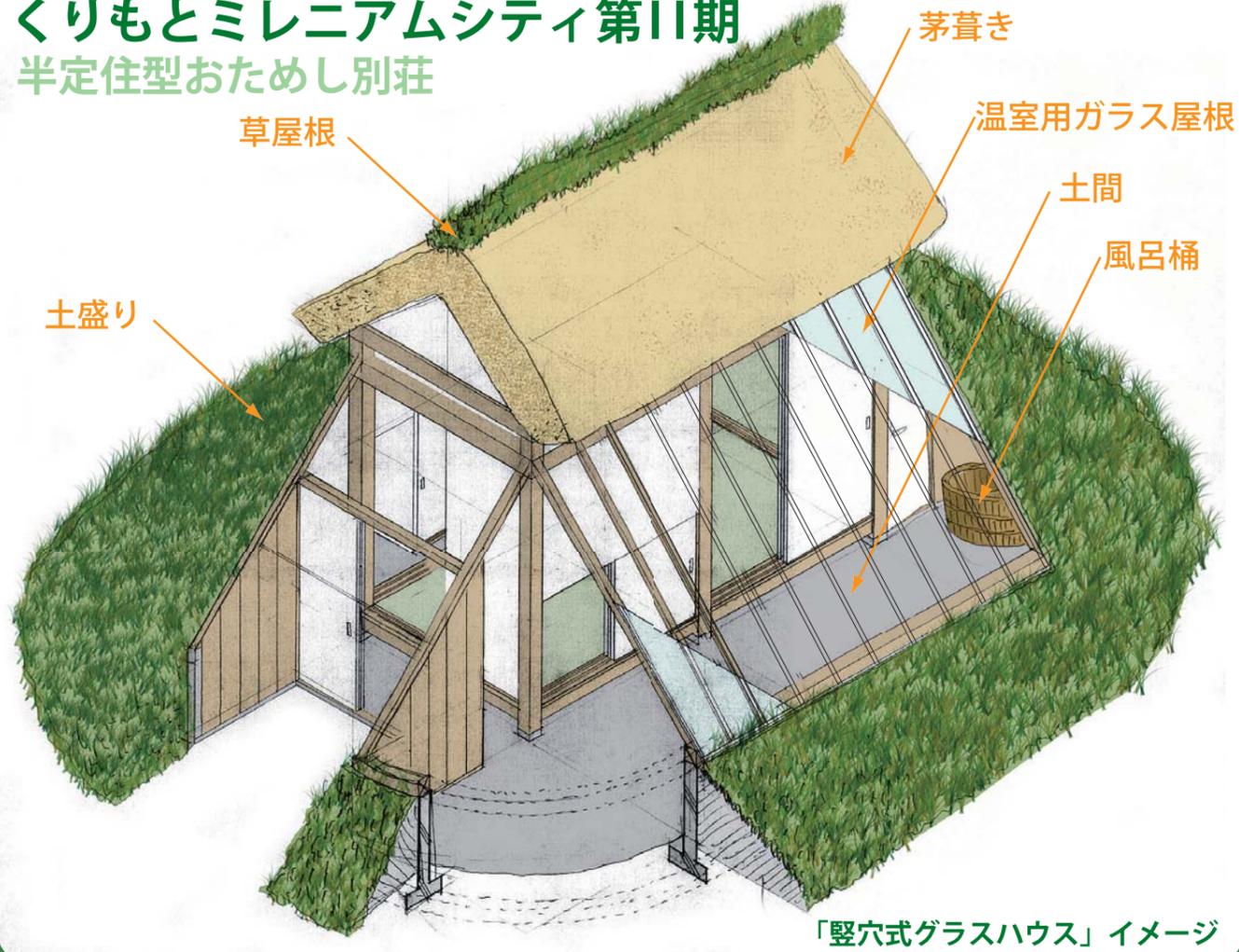
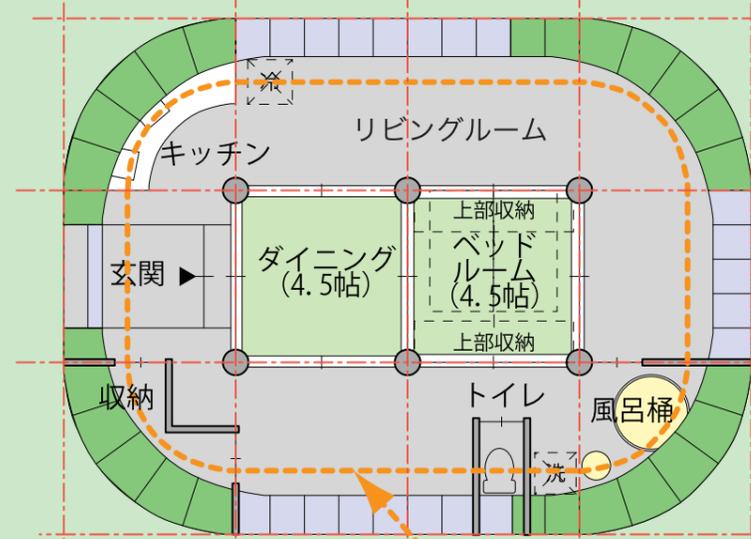


# くりもとミレニアムシティ第II期 半定住型おためし別荘



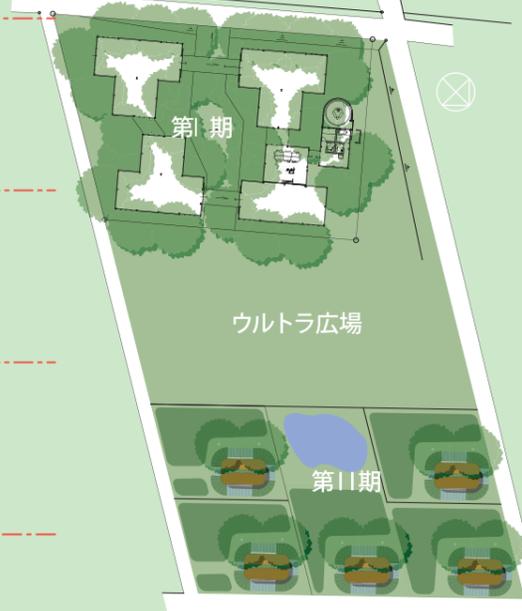
「竪穴式ガラスハウス」イメージ

2003年にオープンしたくりもとミレニアムシティ第I期は、農場サロンを兼ねたおためし別荘でした。そしていよいよ、定住と半定住型のくりもとミレニアムシティ第II期の募集を開始します。自然との調和、省エネ・省資源のエコロジー建築とすることはもちろん、そのことを象徴するひとつの日本的なデザイン「竪穴式ガラスハウス」は縄文がモチーフです。土地は約100坪の定期借地権、建物は所有権の定期借地権分譲を想定しています。建物は標準タイプで床面積約15坪ですが、第I期の共用部分（広いキッチン、ダイニング、ホール、水廻り等）を使用できるため、専用部分には最小限の水廻り等とすることで、面積表示以上の広さや、空間の広がりがあり、どこかなつかしいデザインと相まって、近未来のいやしの環境建築とでもいえるものとなっています。



「竪穴式ガラスハウス」間取り図

約51m<sup>2</sup>(15.5坪)



くりもとミレニアムシティ全体配置図

# Future Village 未来ビレッジサミット

地球環境や人のつながりの破壊をいとめるには、ひとつのNPOの活動だけでは限界があります。そこでミレニアムシティでは、国内外のエコビレッジの実践者や研究者に声をかけて、2009年11月22日～26日に、第1回未来ビレッジサミットを開催することにしました。これを契機に大きなムーブメントを起こし、私達が望む世界を少しでも早く実現したいと考えています。

**未来ビレッジとは**  
地球環境の破壊が叫ばれている今、人のこころの破壊もまた深刻化しつつあります。住まい、食べ物、エネルギー、人のつながりなど生活の各要素において、持続可能な解決策が求められています。そのカギはコミュニティづくりにあります。生態系とも調和しながら、人間としても幸福に生きていけるような共同の暮らしを、都市にも農村にも、いま再創造していくことが私たちに求められています。「お金」よりも「いのち」を大切に、いまいちど自然とのきつなや人間どうしの調和に重きを置いた、古くて新しいコミュニティ。そんな共同体を、私たちは「未来ビレッジ」と名づけ、そのありかたをこれから探っていきたいと思ひます。

**サミットの開催**  
いま世界中で、「エコビレッジ」など新しいタイプの未来型コミュニティづくりが進められています。しかしまだまだ実例が少ない状況です。このままでは、環境やこころの破壊のスピードには追いつきそうもありません。未来ビレッジづくりをもっと広く、早く普及させるには、個別の団体の活動では限界があります。推進する各団体が力を合わせて取り組む必要があります。この未来ビレッジサミットは、コミュニティ運動のネットワーク化を図るために、日本各地の実践者、賛同者を集めると共に、アジア各国の実践者を招き実例を紹介し、未来ビレッジのあり方、進め方、ネットワークのつくり方を話し合います。同時に実例の体験会を開催し、相互交流や理解を深めます。

**めざすもの**  
未来ビレッジサミットの開催によって、既存のエコビレッジや持続可能な地域づくりが活性化されると共に、賛同する市民にアピールし、全国で未来ビレッジ建設を推進することをめざします。この未来ビレッジサミットの目的は次の3つです。  
①つながりづくり……いろいろな団体、有識者、市民がつながりをつくり、活動の輪をひろげます  
②新しい知恵づくり……集まった人々が協議して環境などの問題に立ち向かう知恵をうみだします  
③きっかけづくり……人々の気づきと動くための動機づくりを行います



エコイコイ 11月間  
エコイコイ未来月間参加イベント

このイベントは平成21年度 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けて開催されます

このイベントは特定非営利活動法人CPOプログラムの認定を受けています



エコビレッジの先にあるのは…?

第1回

## 未来ビレッジサミット

シンポジウム 未来ビレッジの可能性を探る体験ツアー

2009/11/22 2009/11/23~26

成城ホール 10:00開場 10:30開演 20:30閉会

くりもとミレニアムシティ+あさひミレニアムシティ+PICA 山中湖ビレッジ+地球大使館+富士エコパークビレッジ+木の花ファミリー

詳しくはサイトをご覧ください <http://npo-mc.com/mv/index.html>

**未来ビレッジとは**

地球環境の破壊が叫ばれている今、人のこころの破壊もまた深刻化しつつあります。住まい、食べ物、エネルギー、人のつながりなど生活の各要素において、持続可能な解決策が求められています。そのカギはコミュニティづくりにあります。生態系とも調和しながら、人間としても幸福に生きていけるような共同の暮らしを、都市にも農村にも、いま再創造していくことが私たちに求められています。「お金」よりも「いのち」を大切に、いまいちど自然とのきつなや人間どうしの調和に重きを置いた、古くて新しいコミュニティ。そんな共同体を、私たちは「未来ビレッジ」と名づけ、そのありかたをこれから探っていきたいと思ひます。

**未来にむかう**

- ①つながりづくり
- ②知恵づくり
- ③きっかけづくり

主催 未来ビレッジサミット実行委員会  
共催 NPO法人ミレニアムシティ/くりもと地球村/日本エコビレッジ推進プロジェクト/NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン/NPO法人ビーグッドカフェ/greenz.jp/木の花ファミリー/いのちの村ネットワーク/エコビレッジ・ジャパン・ネットワーク/NPO法人アースティマナーアソシエーション/NGOワンワールド・ワンビレッジ協会/アースガーデン/NPO法人トージバ国際有機農業映画実行委員会/富士エコパークビレッジ/地球大使館/PICA山中湖ビレッジ/リボン/NPO法人エコソリスム・ネットワーク・ジャパン/アースエール投資事業有限責任組合/NEW HOPE FOUNDATION Film & Art Institute 虹の天使プロジェクト  
後援 国土交通省/環境省(申請中)/農林水産省(申請中)/文部科学省(交渉中)  
社団法人インダストリアルデザイナー協会/社団法人建築士会連合会/社団法人建築家協会/社団法人建築士会/社団法人建築家協会/社団法人建築士会/社団法人建築家協会  
日本経済新聞社/朝日新聞(交渉中)  
助成 独立行政法人 環境再生保全機構 (地球環境基金)

お問い合わせ・お申し込み 未来ビレッジサミット事務局 〒170-0015 東京都豊島区南大塚1-2-6 高橋ビル1F TEL 03-3943-3993 Email mv@npo-mc.com  
V5-091021-15

**「地球環境基金」から助成金**  
未来ビレッジサミットは、独立行政法人環境再生保全機構の「地球環境基金」から、助成金を受けることが決定しました。多くの応募があった中、エコビレッジ関連では唯一の助成となりました。ミレニアムシティとしても初の本格的助成となります。